



Sugarbunnies

## あむあむシュガーバニーズ



TAKARA TOMY

© 2008 TAKARA TOMY CO., LTD. TOKYO, JAPAN

2008年11月発行

対象年齢6才以上

保護者の方とお読みください

乾電池は使用しません。NO BATTERIES REQUIRED.

## ＜取り扱い説明書&amp;あみくみのつくり方＞

この度は、タカラトミー「あむあむシュガーバニーズ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

## 注意(ちゅうい)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を首にかけてふざけたり、鼻筋に挿さないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、袖端上尖っていますので危険です。使用目的以外には絶対に挿さないでください。
- 毛糸を舌などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 恐れぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンドラー内のペラやフック等に糸や髪、毛や衣服などを巻き込まないように注意してください。
- プラスチック袋を固く絞ったり、顔を置いたりしないでください。窒息する恐れがあります。



- ★ ご注意ください ★
- ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。
- プラスチック袋は箱ごと材ですので開封後はすぐに捨ててください。
- 性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。
- はさみを使う時は十分注意してください。
- 火のそばに近づけないようにしてください。

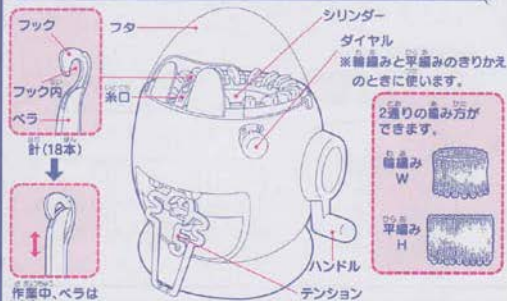
## 目次

- 編みはじめる前の準備……………P1
- 毛糸をセットしましょう……………P1
- 輪編みの編み方……………P2
- 編み終わったら……………P2
- 輪編みの編み終わりのしまつの仕方……………P3
- 輪編みの編みはじめのしまつの仕方……………P4
- 平編みの編み方……………P5
- 平編みの編み終わりのしまつの仕方……………P5
- しろうさのつくり方……………P6-7-8-9
- フェルトパーツの型紙・つくり方……………P10-11

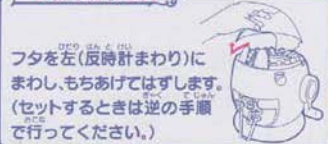
## セット内容

- 本体……………1コ
- テンション……………1コ
- 毛糸針……………1本
- 毛糸(白)……………1コ
- 専用フェルト……………4枚
- 取り扱い説明書(本書)……………1冊

## あむあむシュガーバニーズの各部の名前



## フタのはずし方



## テンションのつけ方



※セット内容の毛糸は「しろさのあみぐるみ」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

## 輪編み

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



## 毛糸をほくしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほくして入れましょう。



## 油性ペンで印をつけよう!

- ①ダイヤルを平編み(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



※選んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を断らずに本体からはずして編み終わりをほどきましよう。

## 毛糸をセットしましょう

- ①毛糸の先を図のように、約20cmくらい中へたらしめます。

- ②針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかかけます。

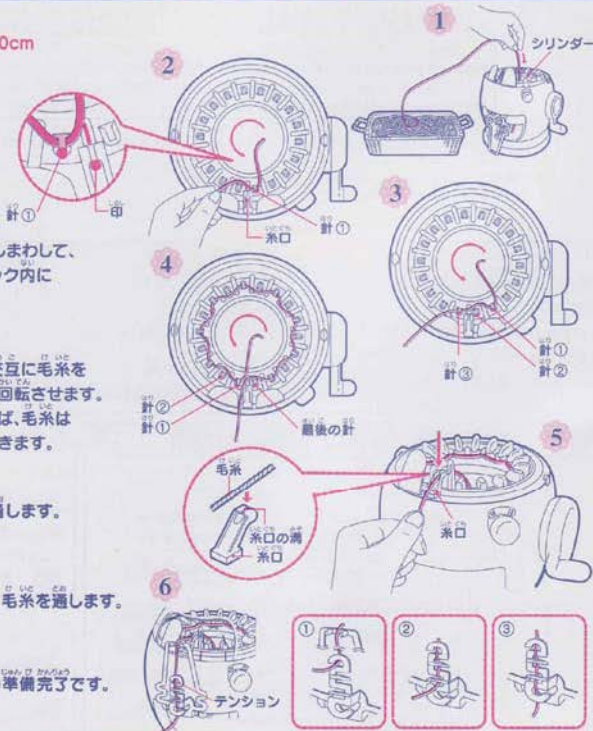
- ③ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。

- ④このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。正しく毛糸がかかっているならば、毛糸は最後の針の後ろを過ぎていきます。

- ⑤糸口の溝に、上から毛糸を通します。

- ⑥テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。

- ⑦フタをセットして、輪編みの準備完了です。



輪編みの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由



- 1 ハンドルをまわして編んでいきます。  
輪編みのときはいつも、時計まわりにまわしてください。  
最初の2周は中にたらしした毛糸を軽く引っばって、ハンドルをまわしてください。

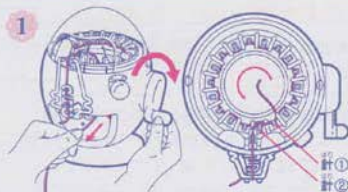
- △ ハンドルは乱暴にまわさないでネ!
- △ ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてネ!
- △ 土台を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。

- 2 編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。  
編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っばるようにしましょう。  
(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っばる…など。)

- △ カチカチと音がしたら、5ページの「シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態」を見てネ!



毛糸がなくなりそうになったり、  
糸をかえたいときは…



図のように毛糸を切り、  
新しい毛糸をむすびつけます。  
毛糸をむすんだら、これまで通りハンドルをまわせば積きを編めます。



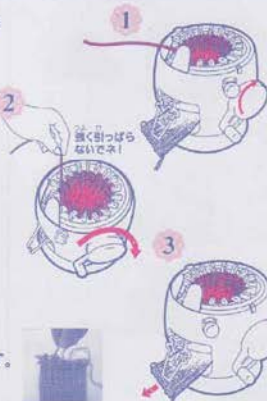
編み終わったら

- 1 テンション・糸口から毛糸をはずします。

- 2 毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。

- 3 編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそとに取り出します。  
編み目がほどけないように、注意しましょう。

- 4 編み終わりの毛糸をちょうど1周分ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれ  
ないところがあったら、セット  
内側の毛糸針ではずしましょう。



輪編みの編み終わりのしまつの仕方

★注意: 編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱって、1段(1周)ほどいってください。  
※毛糸をはさみで切るのは、1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。



針に手糸を通しやすくするために…

セット内の毛糸針に毛糸を通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。  
通したらセロハンテープははずしましょう。



① 残り糸に毛糸針を通します。② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合



しぼらない場合



① 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。

② 残った毛糸のとなり2コ目の編み輪に毛糸針を入れます。



③ 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通してむすびます。



<残った毛糸をかくず場合>

④ てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



⑤ 内側から通した毛糸を引っぱります。  
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



毛糸針を引っぱる

3

① 1周した後、最後の編み輪にもう一度針を通します。



② 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通してむすびます。



輪編みの編みはじめのしまつの仕方

★注意：編み地に一周通す必要はありません。

編みはじめ



しぼる場合



- 1 残った毛糸をゆっくりと引っ張り、穴をふさぎます。



- 2 残った毛糸のとなり2コの編み輪に毛糸針を入れます。



- 3 針を通して引っ張り、輪をつくりそこにまた針を通してむすびます。



<残った毛糸をかくす場合>

- 4 てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- 5 内側から通した毛糸を引っ張ります。  
※余分な毛糸ははさみで切るか、中に入れます。



しぼらない場合



- 1 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- 2 毛糸針を引っ張り、輪をつくりそこにまた毛糸針を通してむすびます。



くろうさ



しろうさ

平編みの仕上げ

編み地の直径約10cm 長さは自由



1 フタをはずして、ダイヤルを平編み(H)に合わせます。

2 ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。

△ 無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音がありますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

3 編む前にあき箱などにほくしておいた毛糸を、1ページく毛糸をセツしましょう。手順を見てセツしましょう。(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)

4 平編みはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。

※一列目は内側にたらし毛糸を軽く引っばって編みましょう。

注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

5 ダイヤルを輪編み(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページの<編み終わったら>と同じ方法ではずしてね。



この毛糸を  
引き抜いて  
ください。



平編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平編みの編み終わりのしまつの仕方

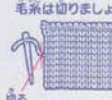
★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほぐれますので、気を付けましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通します。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を通してむすびます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸は切りましよう。



平編みの編みはじめのしまつの仕方

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を通してむすびます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸は切りましよう。



平編みで盛んだ編み律を2つ折りにして両サイドをとじる処理法

① 毛糸針に毛糸を通し、図のように自を広げながらとじていきます。



② 毛糸をつれないように引っばりとじます。



シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。

- ぎりかえダイヤルを平編み(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。
- 毛糸がテンションや針の中からまわってしまいシリンダーがまわらないとき。
- 毛糸玉を編む前にほくさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわし続けたとき。
- 毛糸にむすび自があり、テンションに通らず引っかかってしまったのに、ハンドルをまわし続けたとき。
- 粗太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けたとき。

「あむあむシュガーバニース」の草車をマスターしたら、セット内の毛糸で「しろうさ」をつくろう!

## 段数を数えやすくするために

輪編みを編むとき、段数が数えやすいように「あむあむシュガーバニース」に油性ペンで印をつけます。印をつける場所は、正面の2本の針の間(図のA)です。「あむあむシュガーバニース」に毛糸をセットするとき、内側に20cmたらしめます。



## 編み終わりの糸をきれいにしまつするために

※セットした毛糸は段数に巻かれません。編み終わったら本体からはずして、編み終わりを1段ほどきず。編み目がそろって毛糸針が通しやすく、きれいに後処理ができます。  
※編み終わったら、編み終わりから5cmのところまで毛糸を切ります。

## 用意する物

- ★セット内容……………
- 毛糸(白) ●フェルト(白・うすいピンク・ピンク・紫) ●毛糸針
- ★その他(市販のもの)……………
- 手芸用ポンド ●綿 ●はさみ

## しろうさのからだの各部分をつくりま



### ●耳を2コつくりま【毛糸(白)／輪編み】

★編み終わり・編みはじめの毛糸のしまつの仕方は3・4ページ参照

- 1 ダイヤルを輪編み(W)に合わせ16段編みます。
- 2 本体からはずして、編み終わりを1段ほどいて毛糸を20cm残して切ります。
- 3 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっている編み目に1周通して、「編み終わりのしまつの仕方(3ページ参照)」のくしぼる場合>の方法でしまつします。残った毛糸は切りません。
- 4 編みはじめの毛糸は、4ページの「編みはじめのしまつの仕方」のくしぼる場合>の方法でしまつします。



- 5 同じ方法でもう片方の耳をつくりま。

### ●手・足を2コずつつくりま【毛糸(白)／輪編み】

※手・足は同じ形です。

★編み終わり・編みはじめの毛糸のしまつの仕方は3・4ページ参照

- 1 ダイヤルを輪編み(W)に合わせ6段編みます。
- 2 本体からはずして、編み終わりを1段ほどいて毛糸を20cm残して切ります。
- 3 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっている編み目に1周通して、「編み終わりのしまつの仕方(3ページ参照)」のくしぼる場合>の方法でしまつします。残った毛糸は切りません。
- 4 編みはじめの毛糸は、4ページの「編みはじめのしまつの仕方」のくしぼる場合>の方法でしまつします。残った毛糸は切りません。

- 5 しまつし終わった編み地は、下図のように両側を中心に丸め込み、編みはじめの毛糸で手(足)回り約7cmになるようにぬい合わせます。ぬい終わったらほどけないようにむすび、残った毛糸は内側へ入れます。



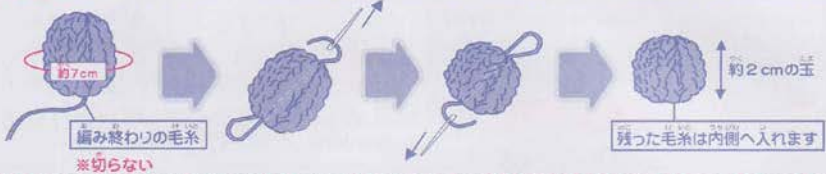
- 6 同じ方法であと3コ作ります。

●しっぽを1コつくります [毛糸(白)/輪編み]

★編み終わり・編みはじめの毛糸のしまつの仕方は3・4ページ参照

※しっぽのつくり方は、まず手・足のつくり方の1～5の手順で同じ物をつくります。

- 残しておいた編み終わりの毛糸を、下図のように反対側の真ん中へ出します。
- 毛糸を引っ張りながら、また反対側に毛糸を通し約2cmの玉になるようにします。
- 約2cmの玉ができたなら、3ページのくしほる場合>の方法で毛糸のしまつをし、玉の形が戻らないようにします。



●胴体を1コつくります [毛糸(白)/輪編み]

★編み終わり・編みはじめの毛糸のしまつの仕方は3・4ページ参照

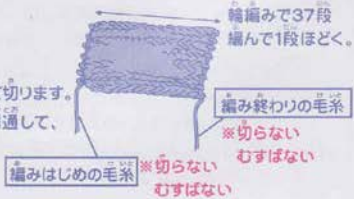
- ダイヤルを精編み(W)に合わせ8段編みます。
- 本体からはずして、編み終わりを1段ほどいて毛糸を20cm残して切ります。
- 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっている編み目に1周通して、残った毛糸はむすばずそのままにします。
- 編みはじめの毛糸は、4ページの「編みはじめのしまつの仕方」のくしほる場合>の方法でしまつします。
- 胴回り13.5cm、高さ3.5cmになるように線をつめます。
- 線をつめた口を3cm開くようにしほり、ほどけないようにむすびます。残った毛糸は切りません。



●頭を1コつくります [毛糸(白)/平編み]

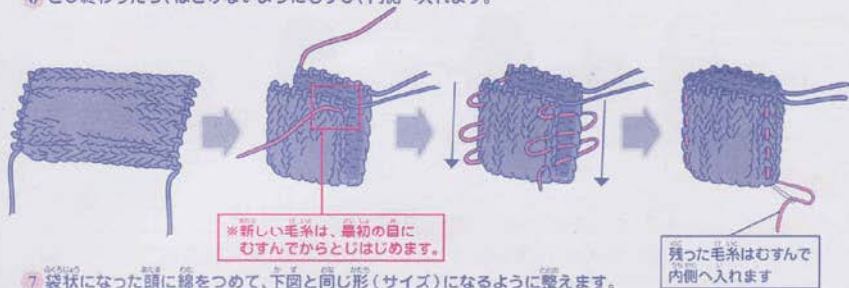
★編み終わり・編みはじめの毛糸のしまつの仕方は3・4ページ参照

- ダイヤルを平編み(H)に合わせ37段編みます。
- 本体からはずして、編み終わりを1段ほどいて毛糸を20cm残して切ります。
- 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっている編み目に1列通して、残った毛糸はむすばず、そのままにします。
- 編みはじめの毛糸も、むすばずそのままにします。

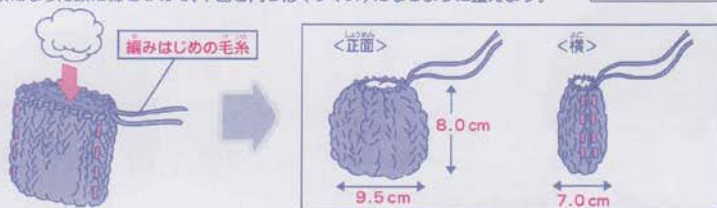




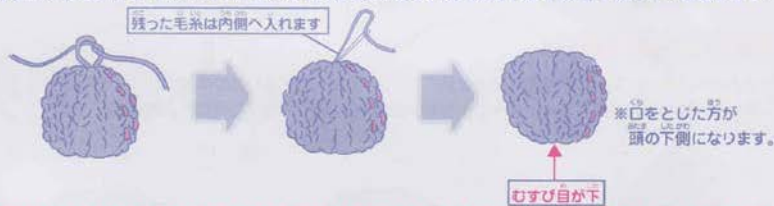
- 5 編み地を二つ折りにして、両脇を新しい毛糸(40cm)で矢印の方向へとします(とじ方は5ページを参照)
- 6 とじ終わったら、ほどけないようにむすび、内側へ入れます。



- 7 袋状になった頭に綿をつめて、下図と同じ形(サイズ)になるように整えます。



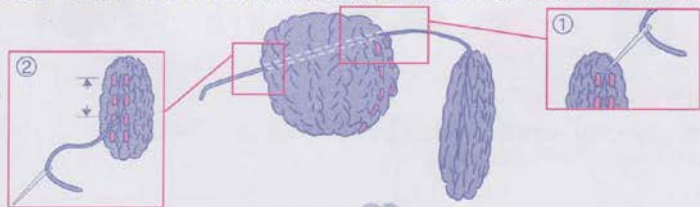
- 8 形が整ってきたら、残しておいた編みはじめ・編み終わりの毛糸を引っ張りながら綿をつめます。
- 9 綿をつめ終わったら、2本の残った毛糸を引っ張りおします。残った毛糸は毛糸針で頭の中へ入れます。



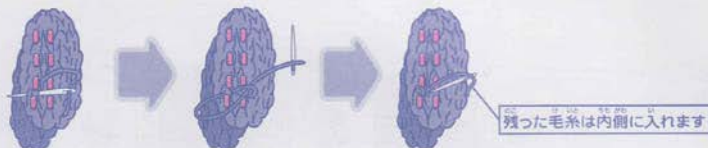
## しろうさを編み立てよ

### ●目をつけます

- 1 頭を袋状にぬった時のぬいはじめに、耳の残った毛糸を通した毛糸針を入れます。
- 2 反対側へ毛糸針を出します。出す位置の目安は、頭を袋状にぬった時のぬいはじめから下へ3cmの所です。



- 3 毛糸を引っぱりすぎて顔の形が変形しないように気をつけて、残った毛糸のしまつをします。残った毛糸は顔の内側に入れます。



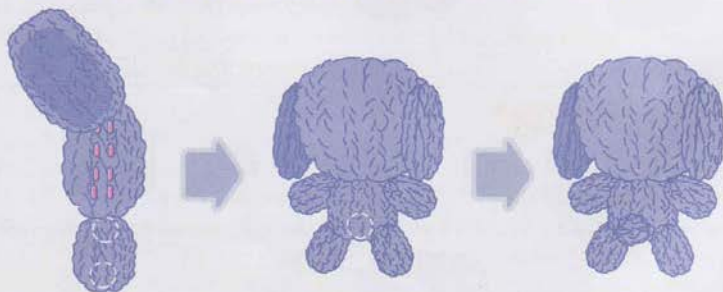
### ●胸体をつけます

- 1 胸体の残った毛糸を使って、下図のように白い点線に沿ってぬいつけます。
- 2 ぬいつけ終わったらほどけないように毛糸のしまつをし、残った毛糸は内側へ入れます。



### ●手・足・しっぽをつけます

- 1 それぞれの残った毛糸を使って下図のように、白い点線に沿ってぬいつけます。
- 2 ぬいつけ終わったらほどけないように毛糸のしまつをし、残った毛糸は内側へ入れます。

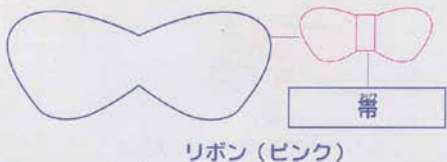


### ●フェルトのパーツをつけます

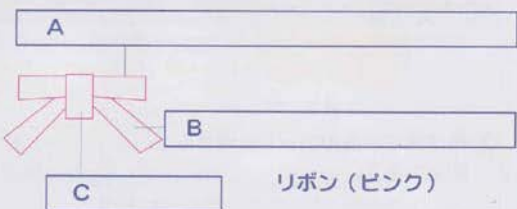
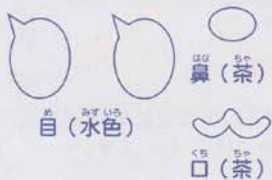
- 1 しろうさぎ用のセット内のパーツを裏表紙の写真を見ながらつけます。  
※フェルトは手芸用ボンドでつけてください。

※この図面を別の紙に写しとったものを準備として使用してください。  
はさみで切る際には、十分注意してください。

●しろうさ



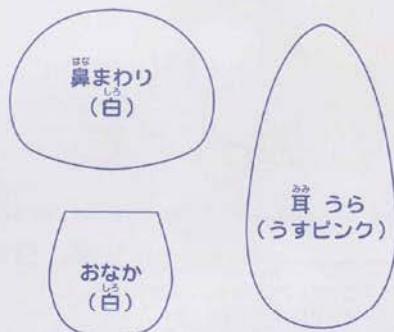
●ももうさ



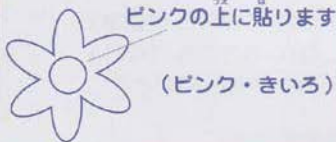
●くろうさ



●全キャラクター只面



●はなうさ



●しろうさりボンのつくり方



(表)

- 1 リボンの中心をつまんだ状態でむすび目になる帯を巻きます。



(裏)

- 2 帯は裏で手芸用ボンドを使って固定します。

●ももうさりボンのつくり方



- 1 (A)を輪にして手芸用ボンドを使って固定します。



- 2 (A)を貼り合わせた上に(B)をななめに折り、貼ります。



- 3 最後に(C)の帯を中心に巻きつけ、ボンドで固定します。



株式会社 タカラトミー

タカラトミーでは、「子供たちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行なっており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミー お客様相談室 あむあむシュガーバニース担当

〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10 TEL 03-5650-1031

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-3-31 TEL 06-6395-1031

\* 電話受付時間 月～金曜日(祝日・祭日を除く) 10～17時 おかけ間違いのないようご注意ください